

仙人通信 204 有間山(1163m)・蕨山(1044m)

有間山・蕨山は名栗湖の北側に位置し、埼玉県立奥武蔵自然公園内の山である。

秩父と飯能を結ぶ県道 53 号沿いの名郷のバス停近くの有料駐車場に車を置き、さくら湖とを結ぶ鳥首峠→有間山→蕨山を廻り、車に戻るコースとした。

駐車場の横の橋を渡り、大鳩園・白岩溪流園のキャンプ場のある白岩沢を眼下に見ながら進む林道からスタートだ。キャンプ場と言う事もあり綺麗に整備されており、石灰岩の石肌を流れ落ちる水音に、清々しさを感じる。歩き始めて直ぐに 3 本の蕨が頭を跨げて迎えてくれた。白いノリウツギ・ヤマアジサイ、半化粧した木天蓼の葉、そして 7 月末に花をつけるイワタバコの葉、更にカジカカエルの鳴き声と自然を一人占め出来た満足感に充たされた。45 分程進むと林道も終わり、登山道を示す標識である。

ヤマエンコザクの咲く道を 15 分程進むと、左手に石灰岩の採石場から林道の終わりの地点へ、克て碎石を運んだモノレールが敷設されており、約 10 分間併進する。コースの主体は杉林の中であるが、ヤマゴボウ・フタリシズカ・マンネングサが綺麗である。

コースは沢沿いから山肌を登る九十九折状となり、45 分程で鳥首峠である。

ここで左に折れ、尾根コースとなる。東側は檜林となるも、西側はカラマツ等の落葉樹で明るいコースだ。5 分程進むと送電線の鉄塔が立つポイントで、東側は霞んでおるも西側はさくら湖から繋がる沢の先にかつて登った熊倉山等が望めた。

やがて尾根の西側は、網のフェンスとなり、赤いヤマツツジの花を鏤めた低木の落葉樹で見晴らしが良い。3 つ目のピークが滝入の頭そして 65 分を要し、しょうじくぼの頭だ。

コースが右に曲がっているのだろうか、南に有間山から北側には妙義山や榛名山も確認できた。鞍部を過ぎ急な斜面を登ること 25 分程で、橋小屋の頭(有間山)である。

有間山はかつて登ったタタラノ頭を含めた総称であり、これで一応登った事となった。

この山頂からの眺望は、木々に覆われほとんど利かない。蕨山を示す道標に従い下り始めたのだが、最近の事情で登山者が激減したのだろうか、先人の踏み跡が途切れてしまった。

山頂に戻るべきであるが、微かにある踏み跡を頼りに反時計方向に進むと、やっとコース上へたどり着いた。尾根コースへ出て 20 分程下がった地点に四阿と広場が、そして道標だ。

ホットしてかなり急な岩尾根を下り、僅かに登ったポイントから下がると名郷と蕨山展望台との分岐である。ここが蕨山山頂で、最高峰は先程通過したポイント(1044m)とある。

300m先の展望台からは、霞んではいるが浅間山から男体山までの眺望ポイントで、山頂の表示がある(ここまで四阿から 25 分)。休憩後、先程の分岐へ戻り 15 分程急斜面を下ると沢沿いのコースとなり、ほぼ 1 時間で沢を越え林道だ。林道では鹿が迎えてくれ・・・、長閑な初夏の 5 時間強 (25500 歩) の山歩きが出来ました。 (R. 5.29)

しょうじくぼの頭からの眺望



橋小屋の頭 蕨山展望台

